



府中市議会・市政レポート

いなづ 稲津 けんご



今号の主な項目

- 1面 【予算審議】府中市が目指す「新しい未来」とは？
- 2面 【一般質問】生活インフラとしての学校トイレを考える
- 3面 【委員会から】公契約条例制定の陳情が全会一致で採択
- 4面 【議会が謎だから聞いてみた】5. 議員提出議案が提出されるまで

予算審議

前年度は6度の補正予算が編成されたが

府中市が目指す「新しい未来」とは？

● 市税収入減も前年度比 50 億円超えの規模

3月議会では、令和3年度の一般会計予算が審議され、賛成多数で可決成立しました。新型コロナウイルス対策をはじめ、新市庁舎の建設や、第八小・第一中の改築事業、福祉、防災、子育て支援などに関わる様々な費用が盛り込まれています。

今回の審議で稲津けんごは、精神障がい者への医療費補助や自殺対策、特別支援教室の設置状況を取り上げ質問しました。いずれも、制度の拡大や柔軟な対応を通じて、誰ひとり取り残さない体制づくりを求める内容でした。

改善の積み重ねが市民の生活にプラスになる。これこそが「新しい未来」ではないでしょうか。



● まだ見ぬ終息と補正予算

3月議会で一般会計予算が成立したものの、コロナ禍が止まらず、様々な支援が必要なことから、4月に専決処分第1次補正予算が成立。6月議会では第2次補正予算が審議・可決されました。第2次補正予算では、いわゆる「デジタル商品券」を活用した地域振興策や、ワクチン接種を加速化するための策などを盛り込んでいます。

デジタル商品券は、3月まで実施された「ふちゅちゅ」の第2弾で、5千円から購入できるとあります。プレミアム率は40%で、電子決済方式と、プリペイドカード方式が採用されます。販売価格は下がったものの、紙クーポンより使いづらいという心配もあります。



議会人事

【5月臨時会】あれから1年…という中で

府中市議会 後半任期の人事は様変わり

● 府中市議会も転換期に入った

前年度を踏襲した2020年度とは異なり、2021年度からの議会人事は大きく一新されました。今回は、常任と特別委員会の人事が変わっただけでなく、新たな議長・副議長・監査委員も選出されました。

これまで「市政会（自民党の会派）」から議長が選出されていましたが、今回は稲津も所属する「市民フォーラム（立憲民主党・社民党・連合系の会派）」から議長が選出されました。市民フォーラムからの議長選出は、1999年の会派結成以降、初めてのことです。

副議長は「公明府中」から選出されました。2020年に発覚した官製談合事件の影響は、今なお大きいです。

議長・副議長ともに、任期は2年です。

● 所属委員会も大きく変更

2021年からの稲津の所属委員会は下記の通りです。

- ・ 総務常任委員会（副委員長）
- ・ 市庁舎建設特別委員会

任期はいずれも1年です。なお、これまで所属していた議会運営委員会からは、外れることになりました。

● 再発防止対策特別委員会の行方

官製談合事件を受けて設置された上記委員会は、一部メンバーの変更はありましたが、2021年度も継続して実施されることとなりました。

一般質問 【3月議会】健康面・心理面でも深刻な問題

生活インフラとしての学校トイレを考える

● 「5Kのトイレ」改修は大人の責任で

かつて、一般社団法人日本トイレ協会が設置した「学校トイレ研究会」は、学校のトイレについて、「汚い・くさい・暗い・怖い・壊れている」の頭文字を取って「5K」と称しました。また、府中市が実施したアンケートでも、トイレが学校の中で1番嫌いな場所だったという結果が出ています。そのようなトイレを作り出したのは大人です。丁寧に改修することで、子どものトイレへの不安が解消されます。

府中市内の公立学校は老朽化が進み、トイレの改修も喫緊の課題となっています。そこで稲津は、学校トイレの改修について、一般質問を行いました。



● 先進事例に学ぶ

稲津は、公立学校のトイレ洋式化率が100%となった自治体の事例を取り上げ、明るい雰囲気でも掃除もしやすいトイレが児童生徒に好評であると紹介しました。

この自治体は、過去に豪雨災害に見舞われており、避難所として学校を利用することも想定して、誰もが安心して使えるトイレが重要であると強調していました。

これに対し市は、5K対策や幅広い世代の利用も踏まえて、トイレの改修を進めていると回答。コロナ禍で遅れが生じた学校があるものの、洋式化率は上がってきているとの報告もありました。



一般質問 【3月議会】ただ改修すれば良いというものではなく

トイレがあらゆる壁になってしまわぬように

● 体育館のトイレを見落とすな

市民が学校に避難する際、多くの方は体育館を利用するでしょう。そうすると、体育館のトイレ改修も積極的に行われるべきです。しかし、市の答弁では、校舎内のトイレ改修を優先し、体育館については今後行うとありました。稲津は、和式トイレを使うことが困難な方も多いと分かれば、体育館のトイレも校舎と時期をずらさず改修すべきであると主張しました。

また、市内の公園にあるトイレについても、点検を随時行い、修繕や改修を進めていくことを求めました。住宅や各種施設でも、トイレの洋式化が進んでいます。差が大きく開かないようにしたいものです。

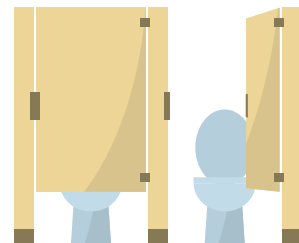


● 洋式化がひとつ実現しました…が

今回の一般質問終了後、府中第七小学校のトイレが改修されたと聞き、現地を視察しました。男子トイレを見ると、洋式化に加え、トイレの間隔を広く取ったことによって、ゆったり使いやすくなったと感じました。

しかし、コンクリートの打ちっぱなしだったため、冬場に冷え込みが強く感じられるのではと心配になりました。配色が明るければ、より快適に感じたかも知れません。

今後、市内の公立学校でトイレの改修が行われますが、機能面や心理面も考慮した設備が求められます。また、工事担当者の負担が少ないスケジュールも大切になるでしょう。



ひといき 議場に「密です」の声があがるも

感染予防の「しつらえ」いつ実現する？

● 本会議場は正に「3密」

新型コロナウイルス感染症が拡大して1年以上。各方面で、マスク着用や手指の消毒、距離の確保など、様々な感染予防対策が求められています。府中市議会の本会議場を見ると、果たして対策は十分だろうか疑問に思います。

まず、飲食店や小売店などで必須の亚克力板が、議長席と壇上にしかありません。では、前後左右の距離を十分に確保しているかというと、そうでもありません。マスクこそ着用しますが、場内を閉め切ることが多く、換気は不十分です。



● 実現しない理由は「インターネット中継」！？

稲津は2020年12月議会前に、議会運営委員として、議場のしつらえを変える提案を行政側にしました。各席に亚克力板を設置する案や、傍聴席を活用しながら前後左右の席を空けて着席する案などでしたが、そのうち後者の案については「インターネット中継の際に字幕を付けるのが困難」という理由で実現していません。理解に苦しむところです。

議席や行政側の席について、前後左右の間隔を取って着席している自治体はあります。柔軟な発想が安心を生むと思う一方、現状にモヤモヤしています。



一般質問 【6月議会】 見せる！自治体の底力！

パートナーシップ宣誓制度をさらに強化しよう

● 自治体間相互利用で広く多様性を認め合う

全国で拡大している「パートナーシップ宣誓制度（以下：制度）」ですが、最近では実施自治体間で協定を結び、制度を相互に利用する取り組みが増えています。

そこで、稲津は6月議会の一般質問で、既に制度を実施している府中市が、今後どのように対応していくのか尋ねました。

市長や担当部長は、宣誓者から要望を受けたり、市から他の自治体に呼びかけたりしたことは無いものの、相互利用には大きなメリットがあると回答。市としても前向きに検討したいと述べました。



● 都内でも動きが活発に

2021年5月19日に、府中市を含め、制度を実施している都内12の自治体がネットワーク会議を実施。相互利用を実現するには、提出書類や対象要件、宣誓方法などの調整が必要としながらも、自治体間の考え方はほぼ一致しているとして、今後も実現に向けて議論を進めることとなりました。

また、6月7日の東京都議会本会議で、制度創設を都に求める請願が全会一致で採択されました。本会議後には小池知事からの、制度導入を検討していくとの発言があり、一気に広がりを見せることも予想されます。



一般質問 【6月議会】 なぜ見せない？自治体の底力！

被害者支援は犯罪が起きる前から考えよ

● 10年前の「約束」は何だったのか

2011年3月議会。稲津の一般質問中に、市から「犯罪被害者支援連絡会議設置要綱を同年度内に策定する」という答弁がありました。

それから10年が経ち、期待を込めて現状を尋ねたところ、犯罪被害者支援に関する情報交換はしていたものの、実際の相談が無いことから、要綱や連絡会を設けていないという回答がありました。がく然とするばかりです。

府中市でも毎年、凶悪犯罪が発生しており、コロナ禍の今も、いつ犯罪に巻き込まれてもおかしくない状況です。犯罪被害者の人権を守る点でも、途切れることの無い支援が必要だと考えています。



● ゼロではなく「マイナス」からのスタート

稲津は、市ができる犯罪被害者支援として、庁内プロジェクトチームを作った上で、相談しやすい環境を整備したり、担当職員のスキルアップを図ったりすることなどを提案。可能な限り「ワンストップ」で対応する一方、関係する部や課がしっかり連携することも求めました。

市からは、市民相談室という相談窓口があることを広く周知したいという答弁があり、『広報ふちゅう』や『わたしの便利帳』を活用しながら、誰も取り残さないという姿勢を示すよう要望しました。

稲津は市をバックアップしたいと表明。「要綱」から「条例」へと移行して、より強固な支援体制を築きたいものです。



委員会から 【6月議会】 いよいよ動き出したが課題も

公契約条例制定の陳情が全会一致で採択

● 「公契約条例」って何？

自治体が発注する公共工事や委託業務などについて、自治体や事業者が果たす責務を定めた条例を「公契約条例」と言います。労働者の適正な労働条件を確保し、事業者の経営環境の改善を図るなどのメリットがあり、市民サービスの向上につながると期待されます。

● 官製談合事件を機に注目

公契約条例があれば、公正な入札が行われると期待されます。稲津は以前から条例制定を求めています。不正入札を招いた官製談合事件を機に、市民から条例制定の声が強まっています。



● 継続審議の声に見る想い

6月9日開催の総務委員会で陳情が審議され、一部会派は「多方面から意見を聞く必要がある」として、継続審議を求めました。その後は委員全員が賛成し、21日の本会議でも全会一致の採択となりました。条例制定に向け、関係各所の意見を聞くことは、確かに重要です。

● 脱・コピペ 脱・形だけ

今後、条例制定に向け、他自治体の先事例を参照しながら検討することになりますが、守るべきところを守りながら、府中市の独自色がある条例にしていきたいです。



● コロナ禍を受けた実質最初の決算審議

第3回定例会(9月議会)では、令和2年度の決算審議に加え、令和3年度補正予算審議や賛否討論などが行われるものと見えています。

今年度は総務委員会副委員長に就任したことから、予算の特別委員会でも副委員長となり、審議の場で直接意見を述べることはありません。それでも、議事をスムーズに進められるよう、丁寧に臨んでまいります。

● 第4回定例会は11月下旬あたりからを予定

第4回定例会(12月議会)は本会議と常任・特別委員会審議が中心となります。体調管理を万全にして、いっそう気を引き締めて臨みます。

● インターネットでの傍聴について

本会議の様子は、インターネットで生中継されます。録画保存もされるため、後日改めて観ることもできます。配信についてのご意見やご要望も、気軽にお寄せください。

【本会議(一般質問など)】

→ 生中継があり、録画保存もされる

【委員会審議】【予算の総括質疑】

→ 生中継されることもあるが、録画保存はない

【予算審議】【各派代表者会議】【委員協議会】

→ 生中継なし(本来は中継すべきものです)



← 府中市議会を知る
日程や議案など、議会情報は
こちらの二次元コードから

府中市議会を見る →
本会議インターネット中継は
こちらの二次元コードから



教えて！
稲津さん

議会が謎だから聞いてみた



【質問5】

最近「議員提出議案」が多く出ていますね。
どういう段取りで提出されるのですか？

【稲津けんごが答えます】

● 最近多い「議員提出議案」は？

確かにそうですね。最近は「意見書(議会の決議に基づき、議会としての意見や要望を内閣総理大臣や国会などに提出する書面)」の提出を求める議案が多いです。

議員提出議案で求める事柄については、意見書の他に「条例」や「決議(市民生活に関わる緊急または重大な事項について、議会の意思を対外的に表明するために行う議決)」などがあります。

6月議会では4件の議員提出議案が提出され、うち2件(いずれも意見書提出)が全会一致で可決しました。

● 議員提出議案の提出の流れは？

まず、議員1名が提出者になり、文案を考えます。2名以上の議員が内容に賛成すれば、それぞれの氏名を明記した上で、議案を議会事務局に提出します。この際、議長と副議長は、提出者や賛成者になりません。

議案は原則、会期最終日の2日前までに提出し、本会議で即決されます。議長や会派代表者には事前に、Eメールなどで議案が通知されます。

東京都府中市議会では、個々の議員で議案を提出できるため、そのハードルは下がっていると言えるでしょう。一方で、会派内で意見が割れることは珍しくなく、採決で予想しない結果になることもあるのです。



即決されるだけに
文案づくりは慎重
かつ丁寧に。

議案が通知されたら、各議員が考え判断するんだね。



お知らせ 新型コロナウイルスとどう向き合うか？

市政報告と市政相談の実施状況について

● 宣言や措置が長引く中での策

「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」が相次いで発令されました。現在は、その時々事情を考慮しながら、市政報告を行うか否かを判断しています。事務所での市政相談は、発令期間中でも十分な対策を取って実施しています。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

● SNSでも情報発信中

TwitterやFacebookでは最新の情報を投稿しています。また、公式サイトも随時更新しています。ぜひご覧ください。(コロナ禍を受け、事務所スタッフによる投稿は現在控えております)



● 稲津けんご略歴

1968年北山町生まれ・西原町在住。府中七小、私立和光中、都立狛江高卒。米・サウスアラバマ大学学士号、米・ピッツバーグ大学院修士号取得。

総務委員会、市庁舎建設特別委員会に所属。

市政レポート次号は2022年1月発行予定です。
(2021年10月は後援会通信を発行します)
公式サイトやSNSでも随時、活動報告をしています。



← バックナンバー
過去のレポート(PDF)は
こちらの二次元コードから



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。